

国公立大学団体国際交流担当委員長協議会 (JACUIE)  
構成団体各代表者 殿

国公立大学団体国際交流担当委員長協議会  
座長 永田 恭介

第 4 回日本・南アフリカ大学フォーラムに係る日本側幹事グループ  
参加希望大学の登録について (照会)

日本・南アフリカ大学フォーラム (以下「SAJU フォーラム」という。) については、別紙 1 のとおり、第 3 回目が平成 29 年 7 月 15 日、16 日にブラザ平成 (東京) にて開催され、日本側からは 25 大学、南アフリカ側からは 21 大学、その他関係機関からも多数参加され盛会に行われました。

次回の開催については、南アフリカ側の意向として、2019 年以降に第 4 回 SAJU フォーラムを南アフリカにて開催されたい意向を確認しております。

貴会にもご出席いただきました、平成 29 年 10 月 6 日開催の国公立大学団体国際交流担当委員長協議会にて、今後日本側の幹事グループを形成することについて審議・了承されているところですが、この度日本側幹事グループへの参加希望について照会しますので、下記及び別紙をご確認の上、貴会関係機関に周知いただき、別紙 2 を取り纏めの上、11 月 6 日 (月) までに本件担当まで提出いただくようお願いいたします。

記

項目	内容
案件名	第 4 回 SAJU フォーラム
相手国の幹事校	プレトリア大学
形成グループ名	第 4 回 SAJU フォーラム日本側幹事グループ
本グループの役割	第 4 回 SAJU フォーラムを開催するための準備、調整全般。 南アフリカ側との協議や日本側の意向、方針等を調整する。
備考	・参加希望大学を国大協事務局にて取り纏め、その後参加希望大学が会合等を開催しながら今後の準備等を進める予定。 ・本照会と同時に、国大協から全国立大学に幹事グループへの参加希望について照会する予定。

【本件担当】

一般社団法人国立大学協会企画部 (担当: 満尾、神杉)

TEL: 03-4212-3516 (ダイヤルイン)

E-mail: [chosa@janu.jp](mailto:chosa@janu.jp)

## 第3回日本・南アフリカ大学フォーラム(SAJU フォーラム)実施報告

SAJU フォーラム実行委員会

**背景・開催趣旨:**

SAJU フォーラムは、高等教育分野における南アフリカ共和国と日本の間の学术交流・協働の枠組みの構築を目指して、これまで2回(広島・2007年、ケープタウン・2008年)開催され、両国の副学長、研究者が参加し、各大学の学術活動の紹介および保健衛生、環境、理数教育、材料科学分野等についての連携を協議してきた。

第3回フォーラムは、「Cooperation between South African and Japanese universities towards achievement of SDGs」をメインテーマに、地球規模・地域の諸課題を解決しようとするSDGsの実現に向けて、両国の大学が連携してどのような貢献を果たせるかについて議論を行った。

**開催日程:**平成29年7月15日(土)-16日(日)

**場所:**東京国際交流館 プラザ平成(東京都江東区青海2-2-1 国際研究交流大学村)

**主催:**SAJU フォーラム実行委員会

日本側幹事校:筑波大学、長崎大学

日本側メンバー校:北海道大学、千葉大学、横浜国立大学、新潟大学、広島大学、九州大学

南アフリカ共和国側幹事校:プレトリア大学

**共催:** 駐日南アフリカ共和国大使館

**協賛:** 国立研究開発法人科学技術振興機構

南アフリカ科学技術省 (Department of Science and Technology)

**後援:** 文部科学省

外務省

一般社団法人国立大学協会

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)

独立行政法人日本学術振興会 (JSPS)

独立行政法人日本学生支援機構 (JASSO)

独立行政法人国際協力機構 (JICA)

日本・アフリカ大学連携ネットワーク (JAAN)

南アフリカ高等教育・訓練省 (Department of Higher Education and Training)

南アフリカ大学連盟 (Universities South Africa)

南アフリカテクノロジーネットワーク (South African Technology Network)

**参加校・機関** (参加大学・機関名は別表参照)

日本側 25 大学 (国立 18 大学、公立 1 大学、私立 6 大学)、7 機関、企業 1 社、1 省

南アフリカ側: 21 大学、5 機関、2 省

**来場者**

7 月 15 日 197 名、7 月 16 日 120 名

**プログラム:**

1 日目 (7 月 15 日 (土) 10:30-17:50)

9:30-10:30 受付 (国際交流会議場ホワイエ: プラザ平成 3 階)

1 日目司会進行:筑波大学 副学長 Caroline F. Benton

10:30-10:40 **開会挨拶** (国際交流会議場:プラザ平成3階)

・筑波大学 学長 永田 恭介

・南アフリカ大学協会 会長 Ahmed Bawa

10:40-11:40 **来賓挨拶**

1. (日本) 文部科学省 大臣官房審議官(科学技術・学術政策局担当) 信濃 正範

2. (南アフリカ) 高等教育・訓練省(DHET) 副次官 Diane Cecile Parker

3. (日本) 科学技術振興機構(JST) 理事 白木澤 佳子

4. (日本)日本学術振興会(JSPS) 国際事業部長 小林万里子

5. (南アフリカ) 国立研究財団(NRF) 副事務局長 Aldo Stroebl

6. (日本) 国立大学協会(JANU) 理事 高橋 姿(新潟大学長)

11:40-12:10 **基調講演 1** 座長:横浜国立大学 学長 長谷部 勇一

**Inter-university collaboration between Africa and Japan for achieving SDGs**

国連大学サステイナビリティ高等研究所 客員教授 長尾 眞文

12:10-12:40 **基調講演 2** 座長:広島大学 名誉教授, 前比治山大学長 二宮 皓

**Towards Further Cooperation among Academia, Government and Industry**

丸紅株式会社 顧問, 経済同友会アフリカ委員会前委員長 関山 護

12:40-14:00 **昼食** (メインホワイエ:プラザ平成3階)

14:00-14:30 **基調講演 3** 座長:Kwazulu-Natal University 学長 Albert van Jaasveld

**Sustainable Partnerships for Development: South Africa and Japan**

University of Pretoria 学長 Cheryl de la Rey

14:30-15:00 **基調講演 4** 座長:千葉大学 理事 渡邊 誠

**Cooperation between South Africa and Japan toward achievement of SDGs by SATREPS**

東京大学名誉教授 山形 俊男、リモート・センシング技術センター理事長 池田 要

15:10-17:10 分科会

分科会 1:Environment and Energy (国際交流会議場)

座長:北海道大学 総長 名和 豊春, Central University of Technology 学長 Henk de Jager

パネリスト:横浜国立大学 北海道大学 新潟大学 千葉大学 埼玉大学 立命館大学

秋田大学 North-West University, University of Limpopo, University of South Africa, University of Johannesburg, University of Pretoria, Alliance for Collaboration on Climate and Earth Systems Science (SKYPE 参加)

分科会 2:Health (メディアホール)

座長:長崎大学 学長 片峰茂、University of Mpumalanga 学長 Thokozile Valerie Mayekiso

朝日大学 筑波大学 東北大学 長崎大学 明海大学 日本医療研究開発機構 (AMED, オブザーバー参加、事業概要の紹介), Stellenbosch University, University of the Witwatersrand, University of Pretoria, Sefako Makgatho University, University of Cape Town

17:10-17:30 ポスター展示 (メインホワイエ他)

17:30-17:45 分科会総括 (各座長からの発表 国際交流会議場)

17:50- 記念撮影 (国際交流会議場)

19:00- 南アフリカ共和国科学技術省主催レセプション

(グラウンドニッコー東京台場 東京都港区台場 2-6-1)

2日目 (7月16日(日)9:00-12:40)

2日目司会進行:長崎大学 理事 山下俊一

9:00-9:30 基調講演5 座長: 国立研究財団 副事務局長 Aldo Stroebel

**Innovation and entrepreneurship education for universities of technology in South Africa: creating an ecosystem for local and regional development.**

Durban University of Technology 学長 Thandwa Zizwe Mthembu

9:40-11:40 分科会

分科会 3:Education, Humanity and Society (国際交流会議場)

座長:広島大学 副理事 堀田 泰司 University of Johannesburg 学長 Ihron Rensburg

パネリスト:産業技術大学院大学 名古屋大学 上智大学 鳴門教育大学

長岡技術科学大学 芝浦工業大学 広島大学 東京外国語大学 University of South Africa, University of Pretoria, University of Zululand, University of the Western Cape

分科会 4: **Agriculture and food** (メディアホール)

座長:九州大学 副理事 渡邊 公一郎, University of Limpopo 学長 Nehemiah Mokgalong

パネリスト:京都大学 九州大学 龍谷大学 東京海洋大学 University of Mpumalanga, University of Pretoria

11:55-12:10 分科会総括 (各座長からの発表 国際交流会議場)

12:10-12:25 共同宣言

- ・筑波大学 副学長 Caroline F. Benton
- ・University of Pretoria 学長 Cheryl de la Rey

12:25-12:40 閉会挨拶

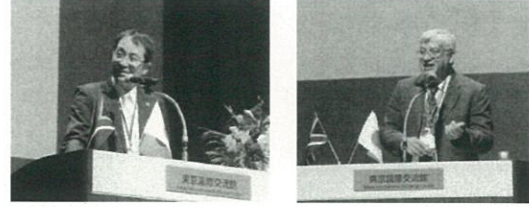
- ・長崎大学 学長 片峰 茂
- ・南アフリカ大学協会 会長 Ahmed Bawa

14:00 日本科学未来館視察 (南アフリカ側希望者のみ)

東京都江東区青海 2-3-6

## 会議概要

本フォーラムの冒頭で、永田恭介筑波大学長及び Ahmed Bawa 南アフリカ大学協会会長が主催者を代表して開会の挨拶を行った。永田学長はアフリカの持続的な発展や「人づくり」に対する日本の大学これまでの貢献に触れると共に、南アフリカとの学術協力がアフリカの発展を牽引力となることへの期待を述べた。Bawa 会長は南アフリカと日本の協働によって次世代の学術をグローバルに担う若者を育てるため、学生・若手研究者の双方向の交流のシステムを構築することの必要性と期待を述べた。



続く来賓挨拶においては、信濃正範文部科学省大臣官房審議官が、科学技術・イノベーション(STI)が SDGs 達成のキーファクターであり、日本政府として地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS)の枠組みで支援を行っていること、日本と南アフリカが協働して SDGs 達成のリーダーシップを発揮してもらいたいと述べた。Diane Cecile Parker 高等教育・訓練省副次官は高等教育が STI と並んで SDGs の



達成に重要であり、研究と教育の密接な連携を図っていること、同時に大学の国際化が南アフリカの科学技術政策の柱のひとつであり、日本の大学との連携に期待すると述べた。白木澤佳子科学技術振興機構(JST)理事は、SDGs の実現に向けた科学技術分野での事業とし



て SATREPS の紹介を行った。小林万里子日本学術振興会(JSPS)国際事業部長は研究者の自由な着想に基づくボトムアップ的研究支援や、海外学術交流支援事業など JSPS が行っている国際交流事業を紹介した。Aldo Stroebel 国立研究財団(NRF)副事務局長は南アフリカの研究助成機関として、JSPS との連携関係の発展的再構築と JST との連携の展望、南アフリカにおける SATREPS 型の研究助成の可能性を述べた。最後に国立大学協会(JANU)を代表して、高橋姿新潟大学長・JANU 理事が日本の国立大学の現況と、JANU の果たしてきた役割を紹介した。

共同宣言(和訳)

第3回日本・南アフリカ大学フォーラム

**“Cooperation between South African and Japanese Universities toward  
achievement of SDGs”**

2017年7月16日、東京

2017年7月15-16日に東京にて開催された第3回日本・南アフリカ大学フォーラム(SAJU)において、以下の共同宣言を発出する。

日本と南アフリカ両国の科学技術、イノベーション、高等教育分野の協力関係を強化することの重要性を鑑み、SAJUフォーラムは両国の高等教育機関同士の協働に係る組織的な枠組みを形成することを目的とし、

- 研究者および学生の相互交流を拡大する
- 研究開発の協働を進める
- 大学間交流プログラムを形成する
- 継続的な両国の大学間連携を進める

ことを目指す。

このフォーラム開催にあたり、日本・南アフリカ両国の政府・機関である、日本国文部科学省、外務省、科学技術振興機構、国立大学協会、日本学術振興会、日本医療研究開発機構、学生支援機構、国際協力機構、南アフリカ共和国科学技術省、高等教育・訓練省、国立研究財団、南アフリカ大学連盟、南アフリカテクノロジーネットワークによる協力と支援に対し、心から謝意を示したい。

日本と南アフリカ共和国を含むアフリカとの人材育成、科学技術研究に係る学術連携の意義はこれまでも強調されてきた。2016年8月に開催された第6回アフリカ開発会議(TICAD VI)でのナイロビ宣言においても、「科学技術、イノベーションの促進」と「人材育成」は諸問題を解決し、具体的成果を得るための有効なものとして捉えられている。

持続的な開発目標(SDGs)は途上国のみならず、世界の全ての国が取り組むべきものであり、その実現のためには両国のパートナーシップは極めて重要である。保健、環境、食糧の安全、エネルギー、社会の安定と持続等の地球規模の課題は、共に力を合わせて取り組まなければならない。我々大学人は積み重ねられた研究成果と叡



智を駆使するとともに、これらを教育を通して次世代に伝えることにより目標の達成に貢献することが出来るのである。

このような背景のもと、第3回 SAJU フォーラムは双方の利益に結びつく学術交流を促進する手立てを議論するための時宜を得た重要な機会であると確信する。

本フォーラムにおいて、我々は地球規模課題の解決と、SDGs の達成のために向け、学術活動や産業界・社会との連携に関するお互いの経験、アイデア、展望、計画を共有した。

その結果として、我々は SAJU フォーラムの目標をより具体的かつ継続的に達成するために最大限の努力を行うことを合意した。そして、以下に挙げる行動を共に実行することを提言する。

1. お互いの研究の興味、成果、展望を共有し、協働の可能性を協議するための学術セミナー等の機会を定期的に持つこと、
2. 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS)、南アフリカリサーチ・チェアイニシアティブ(SARChI)等、学術連携、共同研究プロジェクトに関わる研究助成プログラムに関する情報を共有すること、
3. 学術交流、人材育成、民間・国際機関・NGO 等を含む社会との連携に関わる具体的なプログラム、プロジェクトを形成、共有および実施すること、
4. 日本と南アフリカの大学間の対話の機会を継続的に持つこと、
5. 双方の連絡調整のため、日本側、南アフリカ側双方に事務局を設置すること。

我々は今回の SAJU フォーラムが目標達成に向けた輝かしい一歩となることを信じて止まない。

日本側参加大学・機関・団体

大学			
	大学名	参加者代表職名	参加者代表氏名
1	北海道大学	総長	名和 豊春
2	東北大学	理事	植木 俊哉
3	秋田大学	副学長(国際戦略) (兼)国際交流センター長	佐藤 時幸
4	筑波大学	学長	永田 恭介
5	埼玉大学	副学長	中林 誠一郎
6	千葉大学	理事(教育・国際)	渡邊 誠
7	東京外国語大学	理事・副学長	岩崎 稔
8	東京海洋大学	副学長	東海 正
9	横浜国立大学	学長	長谷部勇一
10	新潟大学	学長	高橋 姿
11	長岡技術科学大学	理事・副学長(国際連携・産学連携担当)	三上 喜貴
12	名古屋大学	理事(国際・広報担当)・副総長	渡辺 芳人
13	京都大学	アフリカ地域研究資料センター長 大学院アジア・アフリカ地域研究研究科・教授 理事補(国際担当)	重田 眞義
14	広島大学	副理事	堀田 泰司
15	山口大学 (オブザーバー参加)	副学長補佐(国際連携担当)	富本 幾文
16	鳴門教育大学	副学長	松岡 隆
17	九州大学	副理事	渡邊 公一郎
18	長崎大学	学長	片峰 茂
19	産業技術大学院大学	教授	前田 充浩
20	明海大学	学長	安井 利一
21	朝日大学	学長	大友 克之
22	芝浦工業大学	学長補佐	井上 雅裕
23	上智大学	グローバル化推進担当副学長 総合人間科学部教授	杉村 美紀
24	立命館大学	理工学部・教授	小笠原 宏
25	龍谷大学	副学長	藤原 直仁

日本側参加大学・機関・団体(つづき)

機関・団体			
	機関・団体名	参加者代表職名	参加者代表氏名
1	文部科学省	大臣官房審議官 (科学技術・学術政策局担当)	信濃 正範
2	国立研究開発法人 科学技術振興機構	理事	白木澤 佳子
3	一般社団法人国立大学協会	常務理事	木谷 雅人
4	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (オブザーバー参加)	主幹	加藤 恭丈
5	独立行政法人 日本学術振興会	国際事業部長	小林万里子
7	独立行政法人 日本学生支援機構	留学生事業部 部長	鈴木美智子
6	一般社団法人リモート・ センシング技術センター	理事長	池田 要
8	国際連合大学 サステイナビリティ 高等研究所	客員教授・プログラムアドバイザー	長尾 眞文
9	丸紅株式会社	顧問 経済同友会アフリカ委員会前委員長	関山 護

南アフリカ側参加大学・機関・団体

大学			
	大学名	参加者代表職名	参加者代表氏名
1	Cape Peninsula University of Technology	Director	René Pellissier
2	Central University of Technology, Free State	Vice-Chancellor	Henk de Jager
3	Durban University of Technology	Vice-Chancellor	Thandwa Zizwe Mthembu
4	Nelson Mandela Metropolitan University	Deputy Vice-Chancellor	Andrew Leitch
5	North-West University	Deputy Vice-Chancellor Research	Frikkie van Niekerk
6	Rhodes University	Deputy Vice-Chancellor	Peter Clayton
7	Sefako Makgatho Health Sciences University	Deputy Vice-Chancellor	Olalekan A Ayo-Yusuf
8	Stellenbosch University	Deputy Vice-Chancellor	Hester Klopper
9	Tshwane University of Technology	Vice-Chancellor	Lourens van Staden
10	University of Cape Town	Executive Director Research Office	Marilet Sienaert
11	University of Johannesburg	Vice-Chancellor	Ihron Rensburg
12	University of KwaZulu-Natal	Vice-Chancellor	Albert van Jaarsveld
13	University of Limpopo	Vice-Chancellor	Nehemiah Mokgalong
14	University of Mpumalanga	Vice-Chancellor	Thokozile Valerie Mayekiso
15	University of Pretoria	Vice-Chancellor	Cheryl de la Rey
16	University of South Africa	Vice-Principal	Lessing Labuschagne
17	University of the Free State	Vice-Chancellor	Francis Petersen
18	University of the Western Cape	Deputy Vice-Chancellor	Pamela Dube
19	University of the Witwatersrand	Deputy Vice-Chancellor	Zebulon Vilakazi
20	University of Zululand	Vice-Chancellor	Xoliswa Mtose
21	Vaal University of Technology	Operations Manager	Hendrik van der Merwe

南アフリカ側参加大学・機関・団体(つづき)

機関・団体			
	機関・団体名	参加者代表職名	参加者代表氏名
1	DST (Department of Science and Technology)	Deputy Director-General: International Cooperation and Resources	Daan du Toit
2	DHET (Department of Higher Education and Training)	Deputy Director General: Universities	Diane Parker
3	NRF (National Research Foundation)	Executive Director International Relations and Cooperation	Aldo StroebeI
4	USAf (Universities South Africa)	CEO	Ahmed Bawa
5	SATN (South Africa Technology Network)	CEO	Anshu Padayachee
6	Alliance for Collaboration on Climate & Earth Systems Science	Access Director: Alliance for Collaboration on Climate and Earth Systems Science	Neville Sweijid
7	The South African Embassy in Japan	Minister Counsellor	Eudy Mabuza